

2. 医学部・医学研究科

1) 医学部共通行事

4月4日(日)	入学式
6月22日(火)	第一回FDワークショップ(M3・M4統合カリキュラムの改訂案について)
7月24日(土)	第一回オープンキャンパス 模擬講義 神谷教授担当
8月2日(月)	第二回FDワークショップ(杏林大学のプレチュートリアル・チュートリアルをふりかえって)
8月28日(土)	第二回オープンキャンパス 模擬講義 古賀教授担当
9月4日(土)	チューター養成ワークショップ
9月6日(月)	第三回FDワークショップ(統合カリキュラムの改善, チュートリアルのあり方に関するFD)
9月18日(土)	大学院秋季入学式
10月8日(金)	慰霊祭
10月30日(土)	杏祭(医学部, 保健学部看護学科, 看護専門学校合同)を開催
11月11日(木)	創立記念日
2月23日(水)	第1回カリキュラム改革検討会議開催
3月18日(金)	卒業式, 学位授与式

2) 平成22年度新設された委員会および新たな方針

(1)「試験問題審議委員会」: 卒業試験問題の適正化を目的とした体制の構築をめざすため医学部長の下に試験問題審議委員会を設置した。これに伴い, 各教室でも試験問題作成の責任者として「試験問題担当委員」を教室責任者が任命することになった。

(2)ホームページ上の教育情報公開: 医学部及び医学研究科ホームページでの『教員紹介』欄の公開が2月28日現在で58%であった。学校教育法施行規則改定を受け, 医学部各教室・各教室員の協力のもと, 教育研究活動等の状況についての情報公開を統一した形式でさらに公開を徹底させていくこととした。

(3)病院実習時の個人情報に関するルール策定: 病院実習時, 個人情報保護の観点から, 個人の識別が可能な情報を病院内においても個人情報管理区域の外に持ち出さないこと, 指導教員は, 学生にレポートを課すとき, 必ず個人情報の記載に関して注意し, 点検を怠らないようにすることなど, ルールを作成した。

(4)10月27日の教授会にて, 来年度の医学部入学定員を117名にすることを正式に決定。

(5)大学院教育評価システム: 前回行われた, 大学認証評価における指摘事項であった, 院生による教育評価の一環として教育評価アンケートを作成し, 今年度から実施を開始した。

3) 教務部関係

(1)学年別授業科目

1年

医療科学A(医療と文化, 心理学, 病院実習, 臨床医学入門)

生物学(入門生物学, 生物学, 生物学実習)

生体化学(入門化学, 生体化学, 生体化学実習)

医学物理学(入門物理学, 医学物理学A, 医学物理学B, 医学物理学実習)

2. 医学部・医学研究科

分子生物学および分子生物学実習，代謝生化学Aおよび代謝生化学A実習
プレチュートリアル，英語A（英語AⅠ，英語AⅡ）

*ドイツ語A（ドイツ語AⅠ，ドイツ語AⅡ），*中国語A（中国語AⅠ，中国語AⅡ）
*フランス語A（フランス語AⅠ，フランス語AⅡ）

2年

肉眼解剖学および肉眼解剖学実習，組織解剖学および組織解剖学実習
統合生理学および統合生理学実習，細胞生理学および細胞生理学実習
感染と防御および感染と防御実習，細胞生物学および細胞生物学実習
代謝生化学Bおよび代謝生化学B実習，英語B（英語BⅠ，英語BⅡ）

*ドイツ語B（ドイツ語BⅠ，ドイツ語BⅡ），*中国語B（中国語BⅠ，中国語BⅡ）
*フランス語B（フランス語BⅠ，フランス語BⅡ），（*印は自由選択科目）

3年

医療科学B（意思疎通，文献情報，基礎生命科学特論，医の原則）
薬理学および薬理学実習，病理学総論および病理学総論実習
熱帯病・寄生虫学および寄生虫学実習，衛生学および衛生学実習
統合カリキュラム（臨床医学総論，神経，呼吸器，消化器，内分泌・代謝，血液）
チュートリアル，医学英語A，医学統計学

4年

統合カリキュラム（循環器，腎一尿路，女性医学，精神，妊娠・分娩，腫瘍，発育・小児，感染症，感覚器，皮膚・形成，運動器，免疫・アレルギー，生活習慣病，老化と老年病，救命と救急医療，麻酔・全身管理，法医学），臨床診断総論，医学英語B

5年

医療科学C，公衆衛生学，CPC，BSL

6年

クリニカルクラークシップⅠ・Ⅱ，臨床総合演習（コース別集中講義）

(2)教務関係主な行事

4月3日（土）～6日（火） M1 オリエンテーション

4月3日（土） M6 学力判定試験

6月7日（月） 学力判定試験の講評及び今後の学習対策についての説明会

6月21日（月） M6 学生と臨床実習についての意見交換会を，医学部長，教務部長，教務主任の出席の下で行われ，今後の参考とした。

8月 M1 東京都地域枠入学者 M1 の5名東京都主催による式根島での合宿参加

8月20日（金） M6 総合試験1期

8月21日（土） M5 第一期総合試験

11月10日（水） M1 グループプロジェクト発表会

12月7日（火） M1 優秀グループへの表彰（学長賞，学部長賞）

平成23年2月19日 M4 全国共用 OSCE 試験

(3)進級判定・評価方法とカリキュラムの見直し

本年度は，チュートリアル，統合カリキュラムについて5回にわたりワークショップが開催され，M6の講義の改善に向けて重点的に検討された。

i) 進級判定・評価方法の改定

a) 進級判定の基準に，平均点及び出席率も勘案して行うことを検討していくことになった。

b) 「M6 総合試験に関する内規」を改定した。大きな改定点は，成績判定基準を過去10年感の国家試

験の合格基準を参考とし年度毎に決定することにした点である。さらに、本年度は、M6 学年開始時に、学生の学力を判定することでその後の指針とする、「M6 学力試験に関する内規」も制定した。

c) OSCE 評価者は、できるだけ外部評価者講習会を受講し、他大学 OSCE に参加した経験を活かすようにする。

ii) M6 講義の見直し

年度の初めに、第104回医師国家試験結果及び国試と M6 総合試験の相関について一般問題・臨床実地問題・必修問題につき、解析報告された。M6 総合試験では再試験対象者ではない成績下位者が国試に不合格となっている傾向があり、総合試験の改善を進めることにした。M6 学力判定試験（4月3日に実施）結果は、昨年度に比べ、平均点が下回っており、次のような対策を講ずることになった。第一に、学力判定試験結果と昨年度（M5）の総合成績とを総合的に判断し下位30名を第一期補講者をとすること、第二に、8月20日（金）に実施した M6 総合試験1期の下位30名を2期補講者とし、補講1期から引き続き補講対象者となった学生には担任による面談を実施する。

また、臨床実習についての意見交換会を、医学部長、教務部長、教務主任の出席の下で行われ、今後の参考とした。同じく、M6 総合試験2期時間割については、学生からの要望を受け、国家試験と同様の形式に変更することとした。

本年度 M6 学生をクリニカルクラークシップ学外施設として受け入れていただいた施設のうち、94施設からアンケートの回答を得、58施設で受け入れてよかったとの高い評価をえた。さらに92施設は来年度も受け入れる用意があるとのアンケート結果が出た。

iii) 統合カリキュラムおよびチュートリアル・プレチュートリアルの見直し

M3・M4 統合カリキュラムについて、平成18年度からの経過を振り返り、6月22日（火）開催のワークショップ時の意見・内容を取り入れた改定案が作成された。主な点は、①ユニットは原則として診療科と一致させる、②ユニット責任者は、各講義担当者にモデル・コア・カリキュラムのどこをカバーし、教科書のどの部分に対応するかを指示する、③臨床診断総論も1つのユニットとする、などである。さらに、23年2月には、統合カリキュラム改革に向けた「第1回カリキュラム改革検討会議」を行い45名が参加した。事前に各科に作成依頼した意見調査をもとに、現状と今後についての意見が交換された。そして、現在のユニットについて、現状とするのか、診療科単位とするか、新たなユニットを形成していくか、ユニット別のモデル・コア・カリキュラムとの対応を考慮し、さらに議論を尽くすべく、次々年度以降に導入するよう、引き続き検討をしていくことになった。コアカリキュラムと関連し、内科系の先生方と教科書導入について検討をした結果、「STEP」（海馬書房）を内科系の基本的な教科書として導入することが決定した。

M4/M5 チュートリアルについては、M4・M5の学生代表（計4名）と医学部長、教務部長、教務主任との間で、意見交換を行った。M4 チュートリアル実施に向けて、M4 学生有志とトライアルを実施した。8月2日（月）に開催された第二回 FD ワークショップ（杏林大学のプレチュートリアル・チュートリアルをふりかえって）チュートリアル・プレチュートリアルのあり方について意見交換・検討をした。

iv) 次年度への改正

(a) 統合カリキュラム及びチュートリアルの改正に向けて、導入の経緯・問題点等を総括した結果、さらに来年度検討を続け、24年度からの新カリキュラムのもとで実施するように準備することにした。

(b) 中期計画実行委員会教育融合部会案における学際的科目として、来年度より M3「医療科学B」の科目内に、「人文・生命科学特論」を設定することにした。

4) 学生部関係

(1)健康管理

- i) 定期健康診断(表1) 実施日 6月9-10日
対象学年 1年～6年(平成22年度学生数600名)
内科(診察), 胸部直接撮影, 視力, 聴力, (ツベルクリン反応検査, 各種抗体検査(1年のみ))
- ii) HBワクチン 対象学年 4年
実施日 接種前 HBs 抗原抗体検査… 4月27日
第1回ワクチン接種…………… 5月19・20日
第2回ワクチン接種…………… 6月16日
第3回ワクチン接種…………… 11月9・10日
接種後 HBs 抗体検査…………… 1月12日
- iii) インフルエンザワクチン 実施日 10月28・29日, 11月1・2日
対象学年 5年(希望者のみ)

(2)奨学金制度(表2)

本年度の育英会奨学生が表のとおり決定した。

(3)クラブ, 同好会(表3)

(4)学生教育研究災害傷害保険の改正について

平成23年度からの学生教育研究災害傷害保険内容の普通保険料の引き下げ及び通学中等傷害危険担保特約保険料の引き上げ等並びに接触感染予防保険を新設することになった。

(5)学長と学生との懇談会が6月18日に行われ, 図書館の開館時間, 講義棟の改善の要望をうけた。

5) 医学研究科

前回行われた, 大学認証評価においての指摘事項であった, 院生による教育評価システムを確立したことは, すでに記載した。その他, 主な事項は以下のとおりである。

(1)特例(早期修了)学位審査の資格要件の改定

改定した主な点は,

- i) 所定の単位を修得していること
- ii) 指導教授の推薦をうけること(在籍中に, 指導教授の責任の下で行われた研究であることの明記)
- iii) 読制度が確立している impact factor が4以上, あるいは各研究領域別ランキングで上位3位の学術雑誌に掲載されていること

(2)大学院医学研究科アドミッション・ポリシーを決定

昨年度の医学部受験生に求める能力, 適正等についての考え方をまとめた入学者受入方針アドミッション・ポリシーの作成に続き, 大学院医学研究科アドミッション・ポリシーを来年度4月に公表することとした。

(3)研究報告会

- i) 平成22年4月27日 平成23年3月修了予定者1名と平成23年9月修了予定者2名を対象とした春季研究報告会を開催
- ii) 平成22年10月26日 平成24年3月修了予定者8名を対象とした秋季研究報告会を開催。

(4)医学研究科特別講演

- i) 9月21日(火) 外科学教授杉山政則先生講演「論文作成の基本技術」
- ii) 12月14日(火) 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター佐藤克文先生講演「南極から熱帯

で進められる「バイオリソロジーサイエンス：動物が記録する科学」

(5)医学研究科 FD を平成23年3月14日（月）に、臨床及び基礎教室間での連携に基づいた教育指導体制に関するディスカッションを行う予定であったが、東日本大震災の影響で来年度に実施することとした。

6) 研究関係・教員評価等

(1)Teacher of the Year 2009

平成21年度に行われた授業を対象に、松村譲児教授、高橋信一教授、小林富美恵教授、池田隆徳教授、高山信之准教授が選ばれた。

なお、授業評価アンケートの回収率向上を図るため、今年度より事務課に回収をお願いすることとした。回収方法について、

- i) 授業評価アンケートの実施日時は、前日までに事務課に連絡する。
- ii) 当日は授業開始時に配布する。
- iii) 授業終了10分前に事務課により回収とする。

(2)研究関係 平成23年度医学部共同研究プロジェクトに桜井教授、楊教授、永松教授、大野教授の4グループに決定した。また、平成23年度研究奨励賞に青柳助教、新倉助教、福富助教、森井准教授、西堀助教が選ばれた。

(3)その他

- i) 第2回教員評価制度による調査実施、
- ii) 利益相反自己申告書提出

7) 医学部教員の研究業績

杏林医学会雑誌業績集を参照ください。<http://plaza.umin.ac.jp/~kyorinms/>

表1 平成22年度 医学部定期健康診断実施件数

学年	学生数	実施項目（受診件数）					
		内科	胸部 X-P	聴力	視力	ツ反応	各種抗体検査
M1	116	106	116	(33)	(34)	106	111
M2	101	67	80	(12)	(10)		
M3	93	82	83	(6)	(10)	2	1
M4	99	84	85	(9)	(5)	1	
M5	90	68	79	(8)	(8)		1
M6	101	99	99	99	94		
合計	600	506	542			109	113

※（ ）：希望者のみ

※ツ反応，各種抗体検査は M1 のみ対象（入学時に未検査の場合，他学年で実施）

表2 平成22年度医学部奨学生
日本学生支援機構奨学生

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
第一種奨学金（無利子貸与）	2	2	5	1	5	5	20
第二種奨学金（有利子貸与）	4	10	12	12	11	10	59
合計	6	12	17	13	16	15	79

表3 平成22年度医学部クラブ・同好会一覧表

2010/7/16

No	体育系 クラブ名	学部別人数内訳						顧問 部長名	学生代表	部室	火元責任者
		総員	医	看	保	外	総				
1	準硬式野球部	11	10		1			杉山 政則	山田 時央	207	山田 時央
2	サッカー部	39	29	4	6			高橋 信一	柴 康弘	213	柴 康弘
3	アイスホッケー部	18	11	2	4		1	櫻井 裕之	川井 衛	110	川井 衛
4	柔道部	12	10	1	1			松田 剛明	柴田 曜	206	柴田 曜
5	剣道部	13	11		2			吉野 秀朗	村瀬 喬弥	123	村瀬 喬弥
6	少林寺拳法部	48	23		16	3	6	松村 譲児	平沢 徳志	221	平沢 徳志
7	ウェイトトレーニング部	41	41					岡島 康友	藤井 肇	216	橋本 悟
8	バレーボール部	27	21		6			石田 均	七条 裕孝	205	七条 裕孝
9	バスケットボール部	32	17	9	6			里見 和彦	黒田 駿	224/228/230	黒田 駿
10	ラグビー部	24	16	6	2			似鳥 俊明	須田秀太郎	215	須田秀太郎
11	陸上競技部	18	18					甲能 直幸	野村 彰宏	106	野村 彰宏
12	バドミントン部	54	24	10	20			蕪澤 融司	松本 龍貴	108/212	松本 龍貴
13	端艇部（ボート）	51	51					塩川 芳昭	鶴久 大介	128/130	鶴久 大介
14	水泳部	27	23		4			森 俊幸	高木 泰介	210	高木 泰介
15	競技スキー部	15	10		5			佐藤 喜宣	水野 雅春	209	水野 雅春
16	硬式庭球部	33	33					須藤 憲一	伊藤 憲	124/125	伊藤 憲
17	軟式庭球部	45	38	7				呉屋 朝幸	柳橋 進	231/225	柳橋 進
18	ゴルフ部	39	39					呉屋 朝幸	小林 知志	107	小林 知志
19	アーチェリー部	27	27					神崎 恒一	麻生 純平	217	麻生 純平
20	ボウリング部	25	25					佐藤 喜宣	土田 陸平	105	土田 陸平
21	空手部	23	23					竹中 均	古暮 洸太	219	古暮 洸太
22	スキューバダイビング部	18	18					佐藤 喜宣	宇野駿太郎	204	宇野駿太郎
23	卓球部	17	5	3	9			竹中 均	磯部 貴布	208	磯部 貴布
24	サーフィン部	21	21					横山 健一	松原 祥平		
25	ハンドボール同好会	35	33		2			田原 義和	松田 恭平		
計		713	577	42	84	3	7				

No	文科系 クラブ名	総員	学部別人数内訳						顧問 部長名	学生代表	部室	火元責任者
			医	看	保	外	総					
1	管弦楽団	46	20	10	16			川上 速人	北見菜々恵	109/220	北見菜々恵	
2	軽音楽部	87	63	6	18			高木 徹也	饒波 正史	232	饒波 正史	
3	ESS部	56	56					神谷 茂	山口 寛和	226	山口 寛和	
4	ぬいぐるみ病院部	68	39		29			楊 國昌	村瀬 喬弥	127	村瀬 喬弥	
5	現代視覚文化研究会	22	22					大木 紫	佐藤 誠祐			
6	東洋医学研究会	31	24		7			呉屋 朝幸	立岡慎一郎			
計		310	224	16	70	0	0					